

風趣点景

管内四季だより③⑥



「春を告げる」

北上市和賀町藤根（ざぜん草の里）

写真・文／高沢 翔(西和賀町沢内)

西和賀町をメインに風景写真を撮っている写真家。

ホームページ「高沢翔写真館」<http://shou.eek.jp>

撮影データ(デジタルカメラ) 2018年3月下旬
ISO感度: 1600 絞り: f8 露出補正: +0.7

北上市和賀町藤根のざぜん草の里。ザゼンソウの名は、仏炎包と呼ばれる紫褐色の葉が座禅を組む僧侶に似ているところから付けられたとか。群生地は木道が整備され来訪者を楽させています。
平成二六年七月号より「管内滝巡り」で初めて本欄に掲載され、その後「管内四季だより」として四季の風景を紹介してきましたが、今号をもちまして終了とさせていただきます。皆様には長い間ご覧頂き、誠にありがとうございました。

先日、腰の周辺が寝られな
らなくなったところ、坐骨神経痛
とのことでした。まだ少し痛
みが続いていますが、普段か
ら身体のケアが大切だと感じ
ました。身体に不調を来した
ことで、健康の有難みを痛感
しました。身体に違和感を感じ
た場合は、早めに医療機関
を受診することをオススメし
ます。周囲の景色も春めいて
きたので、皆さんも寒くて縮
こまっていた身体を動かして
みませんか。自分のためにも
定期的な健康管理を心がけま
しょう。
〔木村〕

澄み切った青空の下、花束
を片手に歩く学生。どん
な気持ちや想いを抱いて帰路
に着いているのだろうか。寂し
さ、想い出、不安、希望、夢。
桜はまだ咲かないが、長く続い
た寒い冬から徐々に春の陽気
を感じられるようになり、卒
業生たちは少しの不安と大き
な希望を胸に歩み始めるだろ
う。そんな気持ちが懐かしい。
今年もまた春がやってくる。
多くの生き物や植物が動き出
す。私も遅れをとってはいら
れない。今年も大きく成長で
きる1年になるよう、春空の
下、大きく息を吸い込んで走
り出すー!!
〔佐藤〕



編集後記

From Editor's